

平成28年 業種別死傷災害発生状況(確定版)

	平成28年		平成27年		増減数	
	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業	1985	20	1751	17	234	3
1 製造業	382	2	321	2	61	
1 食料品製造業	235	1	197	1	38	
4 木材・木製品製造業	20		10		10	
9 窯業土石製品製造業	15		21		-6	
11～12 金属製品製造業	19		12	1	7	-1
13～15 機械器具製造業	28		24		4	
上記以外の製造業	65	1	57		8	1
2 鉱業	5		3		2	
3 建設業	314	4	290	5	24	-1
1 土木工事業	129	2	103	3	26	-1
2 建築工事業	148	1	161	1	-13	
3 その他の建設業	37	1	26	1	11	
4 運輸交通業	211	2	203	2	8	
1 鉄道・航空機業	8		8		0	
2 道路旅客運送業	27		17		10	
3 道路貨物運送業	175	2	177	2	-2	
4 その他の運輸交通業	1		1		0	
5 貨物取扱業	22		18	1	4	-1
1 陸上貨物取扱業	10		8	1	2	-1
2 港湾運送業	12		10		2	
6 農林業	100	5	92	3	8	2
1 農業	43		42		1	
2 林業	57	5	50	3	7	2
7 畜産・水産業	84	1	97	2	-13	-1
8 商業	258	4	224	1	34	3
1 卸売業	37		28		9	
2 小売業	183	4	164	1	19	3
3 理美容業	2		4		-2	
4 その他の商業	36		28		8	
9 金融・広告業	23		15		8	
11 通信業	14		9		5	
12 教育・研究業	19		21		-2	
13 保健衛生業	290		218		72	
1 医療保健業	111		84		27	
2 社会福祉施設	176		127		49	
3 その他の保健衛生業	3		7		-4	
14 接客娯楽業	137		119		18	
1 旅館業	28		30		-2	
2 飲食店	73		56		17	
3 その他の接客娯楽業	36		33		3	
上記以外の事業	126	2	121	1	5	1
10 映画・演劇業						
15 清掃・と畜業	67	1	72	1	-5	
16 官公署	1		1			
17 その他の事業	58	1	48		10	1
陸上貨物運送事業(4-3-5-1)	185	2	185	3		-1
第三次産業(8～17)	867	6	727	2	140	4

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月7日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成28年 業種別死傷災害発生状況（確定）

（事故の型別）

鹿児島労働局

業種	年	平成28年		平成27年 (確定)		増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1985	20	1751	17	234	3	13.4%	17.6%
1 製造業		382	2	321	2	61		19.0%	0.0%
1 食料品製造業		230	1	197	1	38		19.3%	0.0%
4 木材・木製品製造業		20		10		10		100.0%	
9 窯業土石製品製造業		15		21		-6		-28.6%	
11～12 金属製品製造業		19		12	1	7	-1	58.3%	-100.0%
13～15 機械機具製造業		28		24		4		16.7%	
上記以外の製造業		65	1	57		8	1	14.0%	
2 鉱業		5		3		2		66.7%	
3 建設業		314	4	290	5	24	-1	8.3%	-20.0%
1 土木工事業		129	2	103	3	26	-1	25.2%	-33.3%
2 建築工事業		148	1	161	1	-13		-8.1%	0.0%
3 その他の建設業		37	1	26	1	11		42.3%	0.0%
4 運輸交通業		211	2	203	2	8	0	3.9%	0.0%
1 鉄道・航空機業		8		8				0.0%	
2 道路旅客運送業		27		17		10		58.8%	
3 道路貨物運送業		175	2	177	2	-2		-1.1%	0.0%
4 その他の運輸交通業		1		1				0.0%	
5 貨物取扱業		22		18	1	4	-1	22.2%	-100.0%
1 陸上貨物取扱業		10		8	1	2	-1	25.0%	-100.0%
2 港湾運送業		12		10		2		20.0%	
6 農林業		100	5	92	3	8	2	8.7%	66.7%
1 農業		43		42		1		2.4%	
2 林業		57	5	50	3	7	2	14.0%	66.7%
7 畜産・水産業		84	1	97	2	-13	-1	-13.4%	-50.0%
8 商業		258	4	224	1	34	3	15.2%	300.0%
1 卸売業		37		28		9		32.1%	
2 小売業		183	4	164	1	19	3	11.6%	300.0%
3 理美容業		2		4		-2		-50.0%	
4 その他の商業		36		28		8		28.6%	
9 金融・広告業		23		15		8		53.3%	
11 通信業		14		9		5		55.6%	
12 教育・研究業		19		21		-2		-9.5%	
13 保健衛生業		290		218		72		33.0%	
1 医療保健業		111		84		27		32.1%	
2 社会福祉施設		176		127		49		38.6%	
3 その他の保健衛生業		3		7		-4		-57.1%	
14 接客娯楽業		137		119		18		15.1%	
1 旅館業		28		30		-2		-6.7%	
2 飲食店		73		56		17		30.4%	
3 その他の接客娯楽業		36		33		3		9.1%	
上記以外の事業		126	2	121	1	5	1	4.1%	100.0%
10 映画・演劇業									
15 清掃・と畜業		67	1	72	1	-5		-6.9%	0.0%
16 官公署		1		1		0		0.0%	
17 その他の事業		58	1	48		10	1	20.8%	
陸上貨物運送事業（4-3・5-1）		185	2	185	3	0	-1	0.0%	-33.3%
第三次産業（8～17）		867	6	727	2	140	4	19.3%	200.0%

業種	順位	事故の型	人数	割合
全産業	1	転倒	439	22.1%
	2	墜落・転落	422	21.3%
	3	はさまれ・巻き込まれ	225	11.3%
	4	動作の反動・無理な動作	225	11.3%
	5	切れ・こすれ	143	7.2%
	6	交通事故（道路）	106	5.3%
製造業	1	はさまれ・巻き込まれ	87	22.8%
	2	転倒	79	20.7%
	3	切れ・こすれ	59	15.4%
	4	墜落・転落	52	13.6%
	5	飛来・落下	21	5.5%
建設業	1	墜落・転落	133	42.4%
	2	飛来・落下	31	9.9%
	3	激突され	25	8.0%
	3	はさまれ・巻き込まれ	25	8.0%
	5	転倒	22	7.0%
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	69	37.3%
	2	動作の反動・無理な動作	31	16.8%
	3	はさまれ・巻き込まれ	27	14.6%
	4	激突され	15	8.1%
	5	交通事故（道路）	12	6.5%
林業	1	激突され	16	28.1%
	2	切れ・こすれ	15	26.3%
	3	飛来・落下	9	15.8%
	4	はさまれ・巻き込まれ	5	8.8%
	5	崩壊・倒壊	3	5.3%
第三次産業	1	転倒	287	33.1%
	2	動作の反動・無理な動作	140	16.1%
	3	墜落・転落	136	15.7%
	4	交通事故（道路）	75	8.7%
	5	はさまれ・巻き込まれ	51	5.9%
小売業	1	転倒	64	35.0%
	2	墜落・転落	28	15.3%
	3	動作の反動・無理な動作	23	12.6%
	4	交通事故（道路）	19	10.4%
	5	切れ・こすれ	10	5.5%
社会福祉施設	5	はさまれ・巻き込まれ	11	6.0%
	1	転倒	64	36.4%
	2	動作の反動・無理な動作	52	29.5%
	3	墜落・転落	21	11.9%
	4	激突	10	5.7%
飲食店	5	交通事故（道路）	9	5.1%
	1	転倒	20	27.4%
	2	切れ・こすれ	14	19.2%
	3	高温・低温の物との接触	12	16.4%
	4	動作の反動・無理な動作	7	9.6%
5	墜落・転落	5	6.8%	

① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込日数が4日以上
の災害によるもので、死亡者数を含みます。
② 陸上貨物運送事業及び第三次産業は、別計。

平成28年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	平成28年 1 月	新聞販売業	配達員	男	67	転倒	通路	新聞配達の業務終了後、自宅に帰り、朝食を取って寝ていたところ、突然頭の痛みを訴え、「配達中に転んだ」と伝えた後、呂律が回らなくなり、病院搬送され手術を受けたが、そのまま亡くなったもの。
2	平成28年 1 月	建築工事業	作業員	男	49	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	個人住宅の壁の補修工事において、被災者が地上にいる同僚から材料を受け取るために1階屋根上を移動していたところ、屋根から墜落し、被災したもの。
3	平成28年 2 月	食料品製造業	製茶工	男	56	激突され	フォークリフト	事業場倉庫の建設のため、同僚が長さ12mのH鋼の梁(約500kg)をフォークリフトで運搬中、被災者は、梁が揺れて落ちないように手添えしながら移動していたところ、フォークリフトが前後に揺れ、フォークに乗せていた梁が左右に天秤状になったため、被災者が大きく上方に揺れあがった梁を両腕を伸ばして抑えようとした際、当該梁の下敷き(頭部を挟まれ)となったもの。
4	平成28年 2 月	林業	作業員	男	60	激突され	立木等	町委託の松くい虫駆除事業において、高さ12mの松の伐倒作業を行っていた際、チェーンソー切断後、木材グラップル機械で倒した木が被災者の右肩に当たったため、被災者は肋骨が複数折れるなどして内出血多量のため、死亡したもの。
5	平成28年 2 月	林業	作業員	男	70	激突され	立木等	被災者が、かかり木となった杉(伐根直径43cm、樹高23m)の木の処理を行うため、かかられている杉の木(伐根直径33cm、樹高22.2m)を伐倒しようと追い切りを行っていたところ、かかられていた杉が縦に裂け(裂けた長さ約5m)、根元が跳ね上がり、被災者の頭部及び胸に激突したもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	平成28年 3 月	新聞販売業	配達員	男	59	交通事故	バイク	午前5時30分頃、被災者がバイク(90CC)に乗って新聞配達中、ゆるやかな右カーブで道路左側にはみ出し、約2メートル下の田にバイクごと転落したもの。被災者は、自動二輪の免許を所持し、ヘルメットも着用していた。
7	平成28年 6 月	砂防工事業	作業員	男	51	激突され	立木等	被災者がチェーンソーで伐木作業を行ったところ、伐木した木の上部でかすが絡まっていた別の木が根元から掘り起こされて被災者の方に倒れて激突し、死亡したもの。
8	平成28年 6 月	その他の小売業	作業員	男	63	崩壊、倒壊	その他の用具	事業場倉庫内で、ガラスが積載された鉄製パレット(重量:ガラス633kg パレット100kg 計733kg。パレット寸法:縦1.9m 横2.9m 幅0.65m)が倒れ、作業員1名がパレットと作業台との間に挟まれ被災したもの。
9	平成28年 6 月	畜産業	作業員	男	29	激突され	整地・運搬・積み込み用機械	堆肥回収のため、トラクターショベル(機体重量5.8t)を堆肥舎から出し、堆肥舎前の道路を運転走行中に、道路上を堆肥舎方向に歩いていた同僚をひいたもの。
10	平成28年 7 月	その他の事業	作業員	男	51	おぼれ	水	河川の流量測量のため、河川の両岸からロープを架け渡して、ロープを伝って渡っていたところ、河川の中央部付近で姿が見えなくなり、約1時間後、作業場所から2km下流で浮いているところを発見されたもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
11	平成28年 9 月	一般貨物自動車運送業	運転者	男	53	飛来、落下	金属材料	工場ヤードにおいて3人で2.8t門型クレーンを用いてH鋼(重さ約2.5t、長さ約9m)をトレーラーの荷台に積み込み作業中、最後の8本目を積み終え、被災者はH鋼の上に乗って玉掛クランプを外し、クレーンの運転手に巻き上げを指示したところ、玉掛クランプがH鋼にひっかかり、H鋼もろとも地上に落下し、死亡した。
12	平成28年 9 月	その他の土木工事業	土工	男	49	墜落、転落	地山、岩石	林道脇の法面上部の伐採作業のため、被災者が法面上部を移動していたところ、約5mの高さから道路上に墜落して死亡したものの。
13	平成28年 10 月	その他の清掃・と畜業	清掃員	男	48	墜落、転落	作業床、歩み板	下水処理場において、最終沈澱池の汚泥掻寄機修理に伴い、最終沈澱池内の清掃作業を行うため、当該沈澱池ピット開口部(縦111.5cm×横127cm)のグレーチング上でシート養生作業を行っていたところ、グレーチングが何らかの原因で外れ、深さ11mの最終沈澱池内に墜落したものの。被災者は、最終沈澱池内に溜まった深さ120cmの汚水内に、うつぶせの状態で見つかった。
14	平成28年 11 月	木材伐出業	作業員	男	50	激突され	立木等	簡易架線集材装置を用いて伐倒木を引き揚げる作業中に発生した事故。被災者が樹高約24メートル、胸高直径約50cmの杉をチェーンソーにて伐木後、傾斜32度の斜面において玉切した後、斜面を通行中、玉切り材が斜面を転がり落ちて来たため、被災者は玉切り材と立ち木に挟まれ、死亡したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
15	平成28年 12 月	木材伐出業	作業員	男	37	激突され	立木等	通常砂防工事現場において、高さ28mの杉の伐採中、チェーンソーで受け口、追い口を入れた後、伐倒方向に杉を倒すために木材伐出機械(プロセッサ)のアタッチメント側面で当該杉を後方より押したところ、倒れた杉が前方の立木に当たってしなり、その反動で、退避していた被災者の腹部などに激突して被災したものの。
16	平成28年 12 月	一般貨物自動車運送業	運転者	男	43	交通事故(道路)	移動式クレーン	きび輸送用移動式クレーン(つり上げ荷重3t未満、積載重量8.2t)を、死亡労働者が運転中(県道を走行)、県道下約8メートルに転落したものの。 また、当該移動式クレーンには、きび荷役作業に係る助手が同乗していたところ、同人については、係る負傷により、要休業となった。
17	平成28年 12 月	木材伐出業	作業員	男	65	墜落、転落	走行集材機械	山林において、直径約70cm、長さ約5mの玉切りされた杉を走行集材機械を使用して集材・積込み作業中、何らかの理由により、走行集材機械が斜面から横転し、操作していた労働者が当該機械の下敷きになり死亡した。
18	平成28年 12 月	その他の小売業	作業員	男	77	墜落、転落	はしご等	被災者が昼休みになっても事務所に帰ってこないため、同僚が探しに行ったところ、塗装中の貨物輸送用コンテナの横で耳から血を流し倒れている被災者を発見したものの。コンテナの大きさ2.42m×3.65m×高さ2.66m。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
19	平成28年 12 月	機械器具設置工事業	潜水夫	男	42	おぼれ	水	水深約56mの海底に設置された海象観測装置の保守管理のため、小型船に積んだ混合ガスボンベからホースにより吸気を受けた被災者が、午前11時48分に潜水を開始し、午前11時51分頃に水深約56mまで到達した。被災者は午前11時59分頃まで、前日に交換した防蝕板の写真撮影作業を行い、浮上を開始したが、水深24m付近まで到達した際、自発呼吸をしなくなり、救出をするも死亡が確認されたものである。
20	平成28年 12 月	機械修理業	作業員	男	32	はさまれ、巻き込まれ	エレベータ	6階建てマンションのエレベーターピット内において、管理人から依頼のあったエレベーターの異音の確認中、つり合いおもりと巻上機、また、その横にあるつり合おもりのバネ状の緩衝器との間に上半身及び頭部を挟まれ、被災したものの。